

臨床心理室

1. スタッフ構成

- 穂吉 眞之介(新生児内科主任部長、総合周産期母子医療センター副センター長、臨床心理室長)
- 平野 美輪、青木 真妃、垣生 真由子、三好 真佑、田中 梨絵、小林 雅代

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
文部科学省・厚生労働省 公認心理師	平野美輪、青木真妃、垣生真由子、 三好真佑、田中梨絵、小林雅代
日本臨床心理士資格認定 協会臨床心理士	青木真妃、垣生真由子、三好真佑、 田中梨絵、小林雅代

3. 運営方針

- (1) 常に患者さんやそのご家族のところに寄り添うことに努めます。
- (2) 科をまたいでの継続的・長期的な支援、入院治療後の外来でのフォローや療育機関等との連携など、きめ細やかな心理的支援を行います。
- (3) チーム医療の一員として他職種と連携を取り、心理学的知見を活用して、医療サービスの質の向上に貢献します。

4. 実績

<業務内容>

2004年度から主に、総合周産期母子医療センター、小児科を中心に、心理業務を行っています。2017年度からは、6名体制(正職員2名、非常勤職員4名)となりました。

- (1) 総合周産期母子医療センター
 - ・ 産前産後の母親へのメンタルヘルスケア(入院・外来)
 - ・ NICU・GCUに入院中の赤ちゃん(早産、低出生体重児、先天性疾患、多胎児等)のご家族への心理的サポートおよび医療スタッフとの連携
 - ・ ご家族への看取りのサポート、亡くなった後のグリーフケア(入院・外来)
 - ・ 極低出生体重児(1,500g未満)を中心としたハイリスク児の発達検査、知能検査および発達相談(1歳半、3歳、6歳、8歳、11歳時)(外来)
 - ・ 2週間健診でのフォロー
- (2) 小児科
 - ・ 慢性疾患を持つ長期入院児およびご家族への心理的サポート(入院)
 - ・ ご家族への看取りのサポート、亡くなった後のグリーフケア

(入院・外来)

- ・ 心身症の児およびご家族へのカウンセリング(入院・外来)
- ・ 発達障害児およびその疑いのある児への発達検査、知能検査および発達相談(外来)
- ・ 虐待ハイリスクの児およびご家族への対応(入院・外来)
- ・ 福祉書類作成のための発達検査、知能検査(外来)

(3) その他

- ・ 成人診療科(入院・外来)および救命救急センター(救急外来・ICU)のカウンセリング
- ・ 腎移植第三者面談およびカンファレンス出席
- ・ 職員のメンタルヘルス(新人看護職員研修講師、個別のカウンセリング等)
- ・ 県立新居浜病院・県立今治病院への診療応援

<業務実績>

2022年はCOVID-19が広く流行したことや、スタッフの欠員(2021年0.5名、2022年1名)により、前年比べて全体的に利用件数が減少しました。特に、非構造化面接回数は、2020年以降、面会制限により減少傾向が続いています。

■ 臨床心理室利用件数

	2021	2022
検査	438	434
構造化面接	1,305	1,224
非構造化面接	1,720	1,533
合計	3,463	3,191

【検査】

- ・ 医師の依頼による発達・知能検査および性格検査
- ・ 知能検査は1回につき1~3時間
- ・ 性格検査は1種類につき5分~1時間などさまざま、数種類の検査を組み合わせる実施することが多い

【構造化面接】

- ・ 治療のため、面接時間や場所、回数等についての明確な契約を行った面接
- ・ 外来においては基本50分(場合によっては90~120分)臨床心理室にて行い、入院においては20~60分程度、病棟の個室や面会室等にて行ったもの

【非構造化面接】

- ・ 面接時間や場所等の明確な契約を行っていない面接
- ・ NICU内での面談や病棟ベッドサイドでの面談、外来来院時の接触等が含まれる

■ 検査内容と依頼件数

	新生児内科		小児科		精神科		今治病院		新居浜病院		その他		合計	
	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
発達・知能検査														
遠城寺	4	6	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5	8
新版 K 式	158	152	24	27	0	0	20	9	14	21	2	0	218	209
K-ABC または KABCII	64	72	5	11	0	0	0	0	0	0	0	0	69	83
WISC-IV	1	0	51	45	0	2	3	0	14	17	2	0	71	64
田中ビネー	1	0	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	2
WAIS-III	0	0	0	2	1	2	0	0	1	2	1	2	3	8
PARS-TR	0	0	0	0	0	0	0	0	14	21	0	0	14	21
性格検査														
バウムテスト	0	0	16	13	0	0	0	0	5	2	0	0	21	15
風景構成法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
P-F スタディ	0	0	19	13	0	0	0	0	2	2	0	0	21	15
ロールシャッハ	0	0	10	6	0	0	0	0	0	1	0	0	10	7
その他	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	228	230	130	120	1	5	23	9	50	68	7	2	439	434

検査数は前年と大きな変化はありませんでした。

■ 診療科別面接依頼件数

依頼内容	2021	2022
救急科		
熱傷後の心理的フォロー	2	0
精神疾患既往	0	1
心身症	0	1
小計	2	2
産婦人科		
社会的ハイリスク	1	3
不安	2	6
死産	0	5
胎児異常	2	0
気分の不安定さ	2	4
長期入院等による気分の落ち込み	4	1
うつ病・うつ状態(妊娠中)	3	0
産後うつ	0	0
摂食障害(疑い含む)	1	0
小計	15	19
小児科		
心身症(疑い含む)*	16	23
腫瘍等	1	2
血液疾患	3	4
腸疾患	1	0
自己免疫疾患	3	1
脳症	0	1
腎疾患	0	1
児の疾病に対する母親の不安	0	3
発達障害(疑い含む)	1	1
夜尿・遺尿症・頻尿	4	0

抜毛症・爪噛み・チック症	1	1
染色体異常	1	0
臓器移植後の心理的フォロー	1	0
小計	32	37
泌尿器科		
腎移植ドナー	21	13
移植後の心理的フォロー	1	0
小計	22	13
皮膚科		
疾病に対する不安	0	1
消化器内科、消化器外科		
不安・うつ	0	1
心身症疑い・心因性の疑い	1	0
小計	1	1
呼吸器内科		
不安・うつ	1	1
脳神経内科		
発病後の心理的フォロー	1	0
心臓血管外科		
長期入院による気分の落ち込み	0	1
退院後の不安	1	0
小計	1	1
循環器内科		
長期入院による気分の落ち込み	0	2
整形外科		
事故後の心理的フォロー	2	0
長期入院による気分の落ち込み	0	1
小計	2	1
精神科		
うつ病・うつ状態	3	0

形成外科		
熱傷後の心理的フォロー	1	0
総合診療科		
心身症	0	3
適応障害	1	0
摂食障害	1	0
小計	2	3
新居浜病院		
小児科	2	0
職員メンタルヘルス	5	5
合計	90	86

※心身症:起立性調節障害、食欲不振、頭痛、胃痛、腹痛、過敏性腸症候群、関節痛、嘔吐、めまい等の症状を伴う

面接依頼件数は、前年に比べて大きな変化はありませんでした。小児科、産婦人科、腎ドナー面接が多くを占めています。

新生児内科については、2019年4月からNICU入院児全例に介入することとしているため、新生児内科からの依頼は計上していません。

■ 構造化・非構造化面接回数

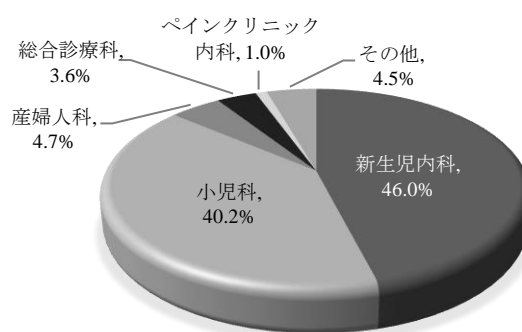
	構造化		非構造化	
	2021	2022	2021	2022
入院				
救急科	4	4	1	6
産婦人科	50	25	29	13
新生児内科	10	45	1,222	1,164
小児科	227	190	179	79
小児外科	0	0	7	0
腎移植ドナー・レシピエント	0	0	2	0
消化器内科	1	0	0	1
呼吸器内科	1	3	4	0
脳神経内科	3	0	0	3
脳神経外科	0	0	0	1
循環器内科	0	3	0	2
心臓血管外科	3	3	0	0
整形外科	4	2	1	2
形成外科	2	0	9	0
皮膚科	0	0	0	1
総合診療科	4	9	8	0
外来				
ペインクリニック内科	31	21	0	0
産婦人科	55	51	7	13
新生児内科	2	7	158	118
小児科	732	689	78	123
小児外科	12	19	0	1
腎移植ドナー・レシピエント	19	14	2	0
泌尿器科(腎移植以外)	8	8	0	1
乳腺・内分泌外科	0	4	0	0
消化器内科	2	0	2	0
整形外科	1	0	1	0
精神科	14	11	1	1

漢方内科	5	57	0	3
総合診療科	88	34	9	1
その他				
新居浜病院	16	7	0	0
今治病院	0	1	0	0
職員メンタルヘルス	11	17	0	0
合計	1,305	1,224	1,720	1,533

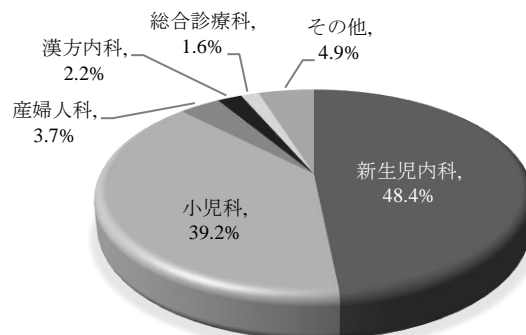
構造化面接回数はここ数年増加し続けていましたが、2022年、外来ではCOVID-19感染によるキャンセルが多くなり、前年と比べてやや減少しました。内訳は小児科や産婦人科、新生児内科が多くなっています。

非構造化面接では、この3年間のCOVID-19流行に伴う面会制限により、NICUでの面接回数が減少し続けており、全体の回数にも影響しています。

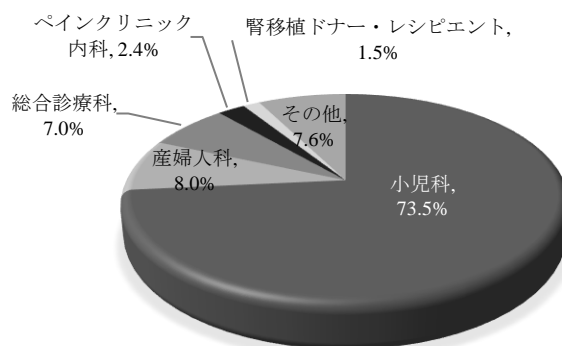
■ 各科における面接回数(2021年)



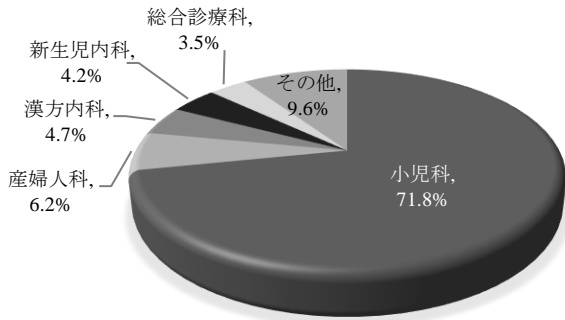
■ 各科における面接回数(2022年)



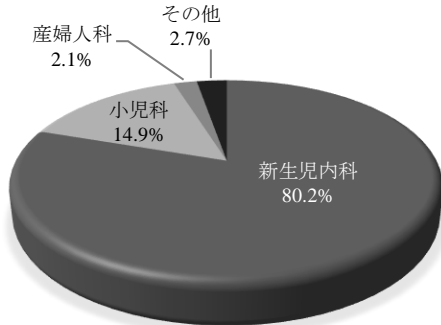
■ 各科における構造化面接(2021年)



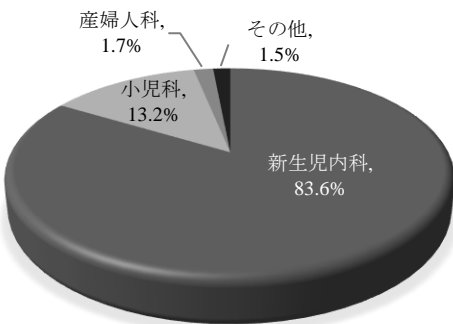
■ 各科における構造化面接回数(2022年)



■ 各科における非構造化面接(2021年)



■ 各科における非構造化面接(2022年)



■ 電話対応件数

	2021	2022
相談^{※1}		
新生児内科	5	9
小児科(小児外科含む)	7	18
産婦人科	5	3
精神科	3	1
その他の診療科	0	1
新居浜病院	4	0
メンタルヘルス	5	1
その他	0	1
小計	29	34
地域連携^{※2}		
新居浜病院	5	2
今治病院	2	2
松山市子ども総合相談センター	5	5
愛媛県福祉総合支援センター	1	4
その他	4	7
小計	17	20
予約^{※3}		

新生児内科	148	152
小児科(小児外科含む)	81	93
産婦人科	1	2
その他の診療科	4	11
新居浜病院	21	6
今治病院	1	3
その他	0	2
小計	256	269
その他		
新生児内科	1	13
小児科(小児外科含む)	4	4
産婦人科	0	1
新居浜病院	0	4
今治病院	0	1
その他	4	0
小計	9	23
合計	311	346

※1)電話による相談

※2)地域連携: 県や市町等の機関との連携

※3)予約: 外来のカウンセリング予約や定期的な発達検査等の呼び出しを含む

■ 検査結果説明[※]

	2021	2022
新生児内科	1	0
小児科	62	66
精神科	1	4
合計	64	70

※知能検査や性格検査の結果や、それを踏まえた今後の対応について、後日、保護者やご本人に対して説明

■ IC 同席[※]

	2021	2022
新生児内科	60	44
小児科	11	5
産婦人科	1	0
合計	72	49

※治療方針の情報共有とともに、IC 時のご本人やご家族の様子を踏まえて、IC 後に心理的フォローを行う

■ カンファレンス出席[※]

	2021	2022
新生児内科	6	1
小児科	23	16
産婦人科	4	10
腎移植	13	12
中四国小児がん支援部会	2	2
がんセンター	3	2
院内学級	15	0
関係機関	17	11
その他	2	3
合計	85	57

※他科とのケースカンファレンス: コメディカルとして出席し、心理的な見立てについての情報提供や今後の支援の方向性についての情報共有や意見交換等を行う

■ 情報提供※

	2021	2022
保護者・本人	262	248
新居浜病院	56	64
今治病院	26	20
その他	20	32
合計	364	364

※当院での心理検査結果やカウンセリング記録を保護者の了承のもと他機関へ情報提供したもの

■ 院内研修講師等

開催日	研修会	テーマ	講師
4月4日	新規採用看護職員1期オリエンテーション	ストレスの対処法について	平野美輪
5月12日	新規採用看護職員研修	ストレスマネジメント	平野美輪
6月28日	看護部固定チームリーダー研修	アサーティブコミュニケーション	平野美輪
8月26日	3年目職員フォロー研修	ストレスマネジメント	平野美輪
10月28日	新卒新規採用看護職員リフレッシュ研修	ストレスマネジメント	平野美輪
11月1日	産科勉強会	EPDS に強くなる	平野美輪

■ その他の活動

委員会およびカンファレンス	参加者
治験審査委員会/臨床研究審査委員会	平野美輪
虐待防止委員会	平野美輪
小児医療センター運営委員会	平野美輪
中国四国ブロック小児がん相談支援部会	青木真妃
小児がんカンファレンス	全員
腎移植カンファレンス	面接担当者
BFH 連携会	平野美輪
愛媛県福祉総合支援センター連絡会	平野美輪
松山市子ども総合相談センター連絡会	平野美輪

5. 2023年度目標

- (1) 患者さんやご家族の不安や葛藤に寄り添います。特に、親子の絆を育む時期である周産期において、きめ細やかな心理的支援を行います。
- (2) 他職種と連携しながら、患者さんやご家族、スタッフのこころのケアに取り組みます。
- (3) スタッフのより一層の技術の向上に努めます。

6. 学術関係

(1) 論文・著書

1. 垣生真由子、長尾秀夫、穂吉真之介、矢野薫、発達に気になる極低出